

中学生と小学生の子供を持つ親です

【ご意見要旨】

つくばみらい市、茨城県の現状として、小中学校の休校(部分休校を含む)までが必要だとは思えません。1都4県などと比較しても、状況は比較的軽いのに対応は重すぎると思われます。

学校は、児童生徒の学力をつける場であると同時に、生活の場でもあります。夏休みから継続する休校で、学習の断絶が厳しいものになっています。課題が出されたとしても、子供だけで課題を進められる家庭はほとんどありません。

また給食が再開されないことで家庭によっては子供の食生活も厳しい状況になるところも出てくるのではと思います。子供と家庭にがまんを強い、学習意欲と生活意欲が長期間に渡って低下していくのは、取り返すことが難しい状況を生んでしまうのではないかと危惧します。

要望したいのは、感染対策を取ったうえでの平常の学校再開であり、給食の再開です。喫食時のリスクは、黙食やパーティションの使用などで抑えることができます。学校の平常の再開が難しいのであれば、せめて午前登校に、持ち帰り給食を提供する形を取れないでしょうか。給食の社会的役割は大きいです。ご検討くださいますようお願い申し上げます。

【回答要旨】

本市では、県のガイドラインに基づき、9月13日からの学校再開に向けた準備を進めておりましたが、緊急事態宣言の延長により、県から自宅でのオンライン学習の継続の要請がございました。

しかしながら、私としては対面による学びも重要と捉えております。そのため、市としましては、小学校では原則、隔日登校する日を設けたり、中学校では期末テストを実施するために登校日数を多く設けたりする等、オンラインのみで対応する他の市町村と比較しても、対面による学びを保障するための準備をより多くしてまいりました。

また、給食につきましては、本来であればご意見いただきましたように、大切な役割もあり、提供をしたいところではございますが、飲食による感染リスクを防ぐことが求められることから、緊急事態宣言中の提供は中止させていただくことになりました。また、持ち帰り給食は、衛生面の問題により実施することができませんので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

(令和3年 9月回答)